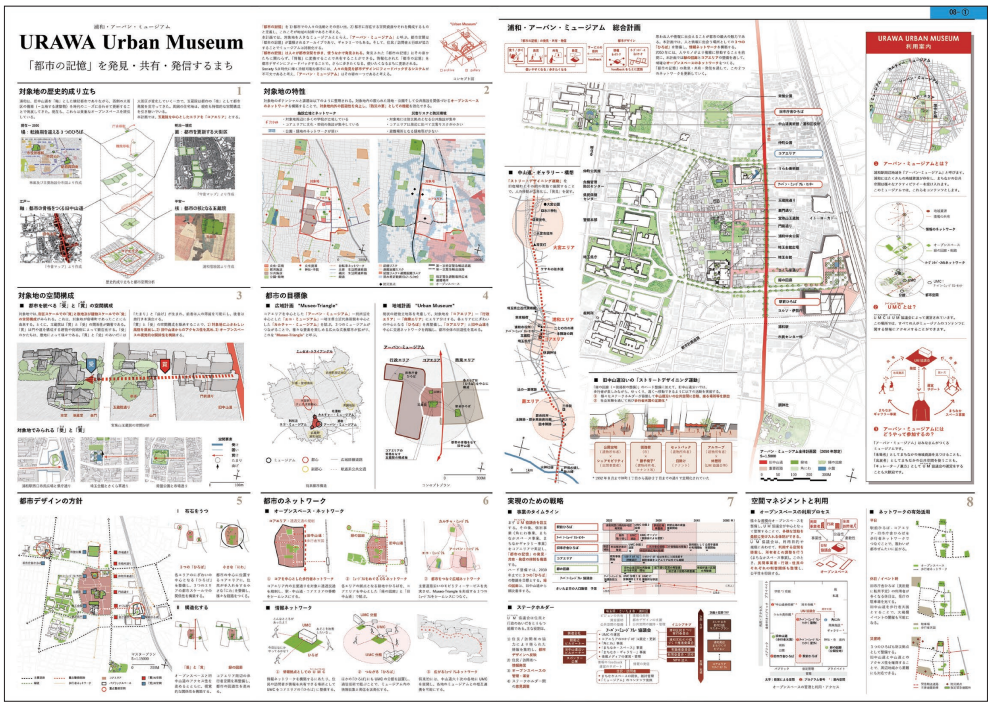
第 24 回 まちづくり・都市デザイン競技

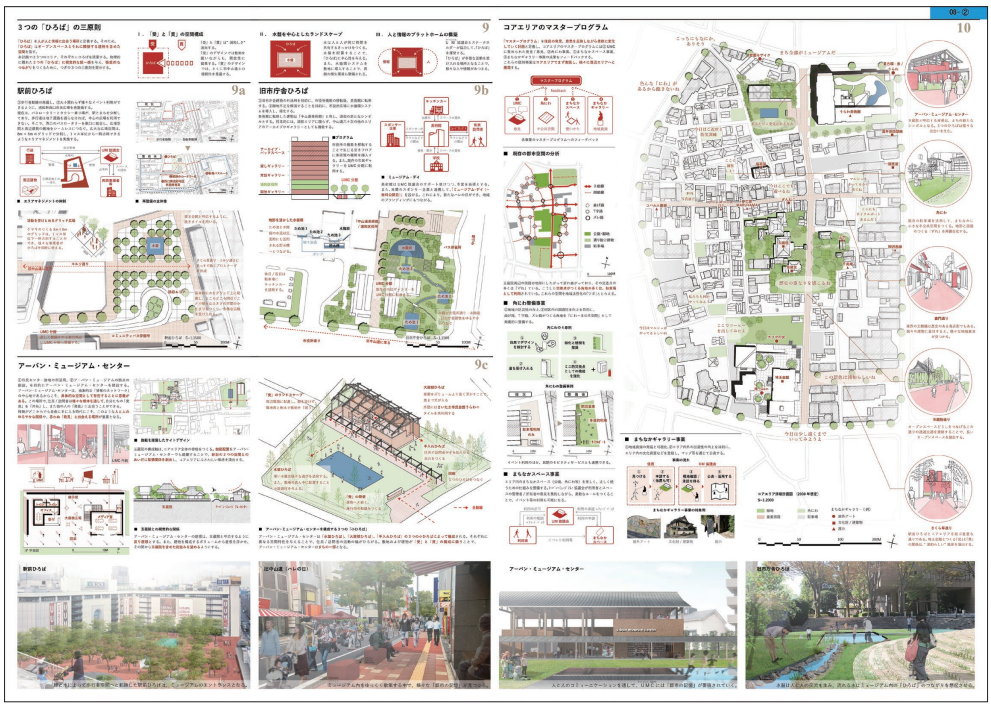
国土交通大臣賞

URAWA Urban Museum 「都市の記憶」を発見・共有・発信するまち

受賞者

砂川 良太［株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル］





審査講評

■わかりやすい空間構成をベースとして、丁寧に考えられている作品。中山道の一本西側の南北道路を軸としたコアエリアを設定し、生活のイメージをうまく抽出（描写）しており、建築のイメージも明快である。

■都市の歴史性・特性や目標を踏まえて都市デザインの方針を示すという、オーソドックスな構成のもとに、都市デザインへと昇華させた作品。特に、コアエリアのマスタープログラムが緻密に考えられている。

■募集内容の 1 つである「まちの魅力をさらに磨くゾーン」として、玉蔵院周辺を書き込み、浦和駅西口駅前広場については整備時期も異なるとの考えからか、かなり異なるテイストでまとめている。本競技の広範な要求に対して、的確かつ素直に対応している点が高く評価された。

■まち再生時代を迎える中で、対象地区の特性から見えてくる魅力ある都市デザインの“手法”を発見し、各所にその場所性に対応した独特な“空間像”を提案している。共感できる多くの示唆を与えてくれる貴重な作品と高く評価できる。

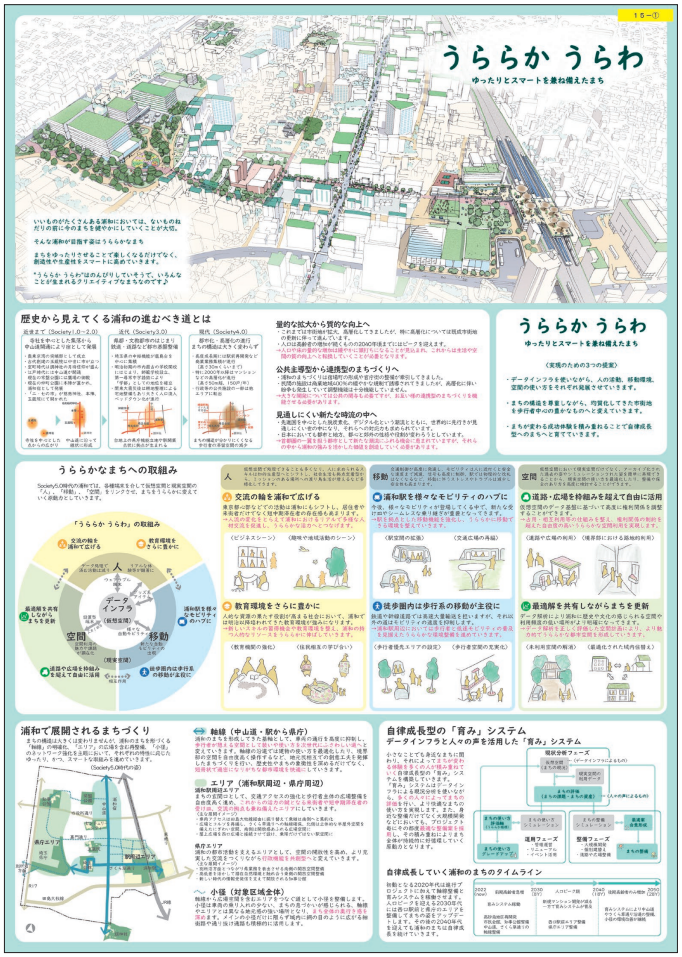
第 24 回 まちづくり・都市デザイン競技

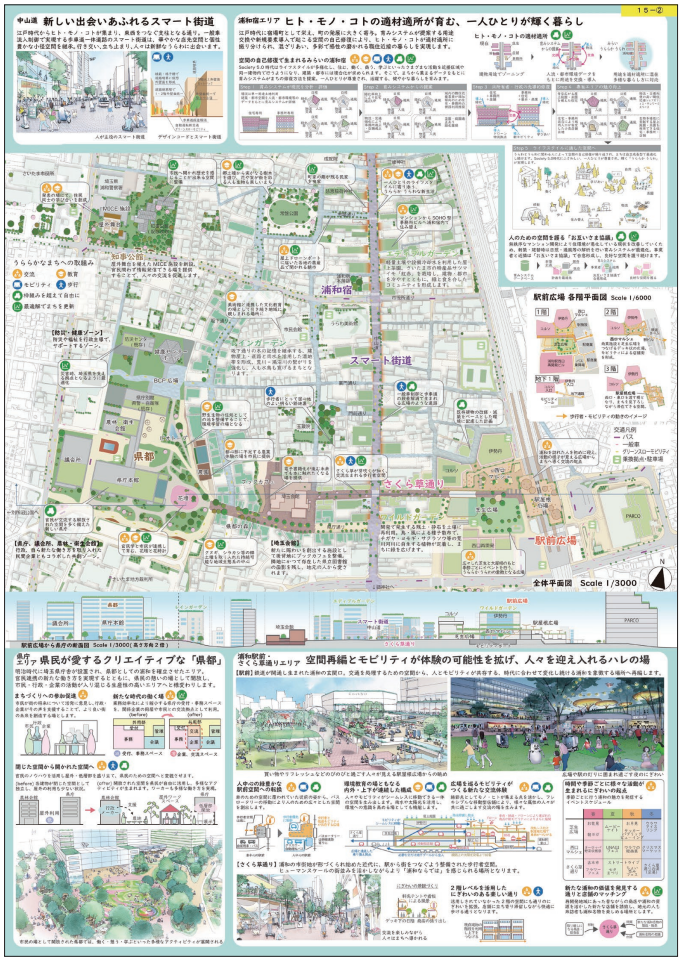
まちづくり月間全国的行事実行委員会会長賞

うららか うらわ　ゆったりとスマートを兼ね備えたまち

受賞者

石田 武 / 半澤 武夫 / 野島 僚子 / 山崎 ひかり / 前山 倫子 / 杏村 潤貴 /
矢口 伊万里 / 長坂 康汰 / 木野 朋彦 / 佐久間 萌美 / 西川 陽温［大成建設 株式会社］





審査講評

■浦和駅から埼玉県庁へ至る東西軸と、中山道の南北軸とから成る都市構造を強調したプランに説得力がある。駅西口から県庁に繋がるエリアをコアとしてとらえ、わかりやすい表現でデザインをしている点が評価された。なお、データインフラで支えるまちづくりの取り組みを、新しいパーツという意味で挑戦するアイデアがあれば、より良かった。

■人々のまちに対する評価を、データインフラを活用してフィードバックすることにより、まちの自律成長を促すシステムを提案している。東西、南北の二軸を中心とした空間構成などがバランスよく提案されている作品。

■人の空間とそれらをつなぐ移動に着目しつつ、スマートかつ未来感のある提案である。現実の都市に対して、提案がより分かりやすい内容であれば、なお良かった。

■駅前空間における人と車の関係性を、人間ファーストに徹した空間再編する提案を評価した。一方、官庁街の地区全体の全面的な大規模建替えについては、パネル 1 枚目に掲げている「歴史から見えてくる浦和の進むべき道とは」に逆行する提案となっている点には疑問を感じる。

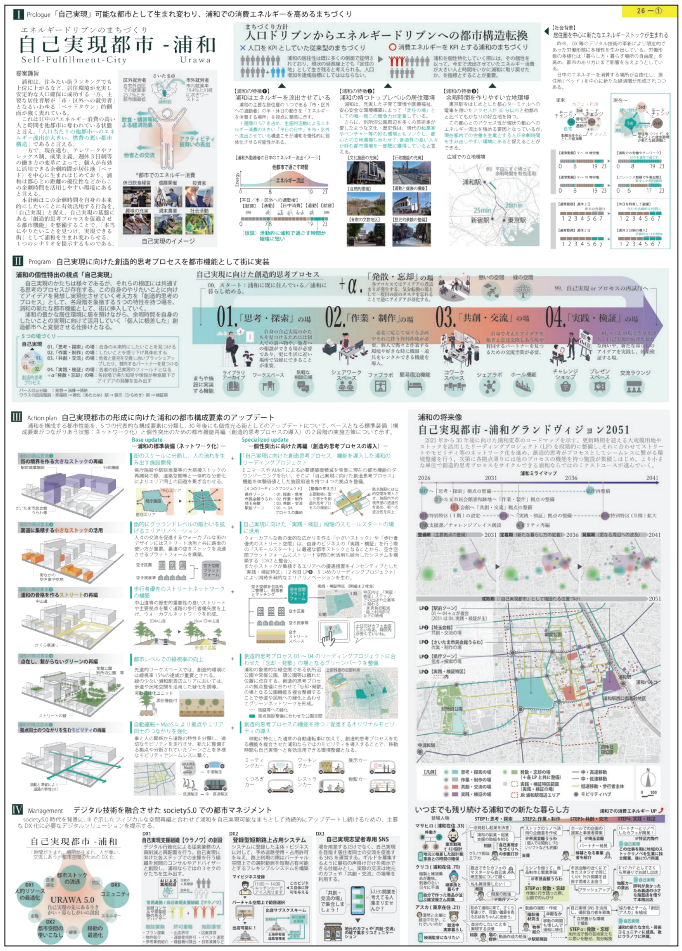
第 24 回 まちづくり・都市デザイン競技

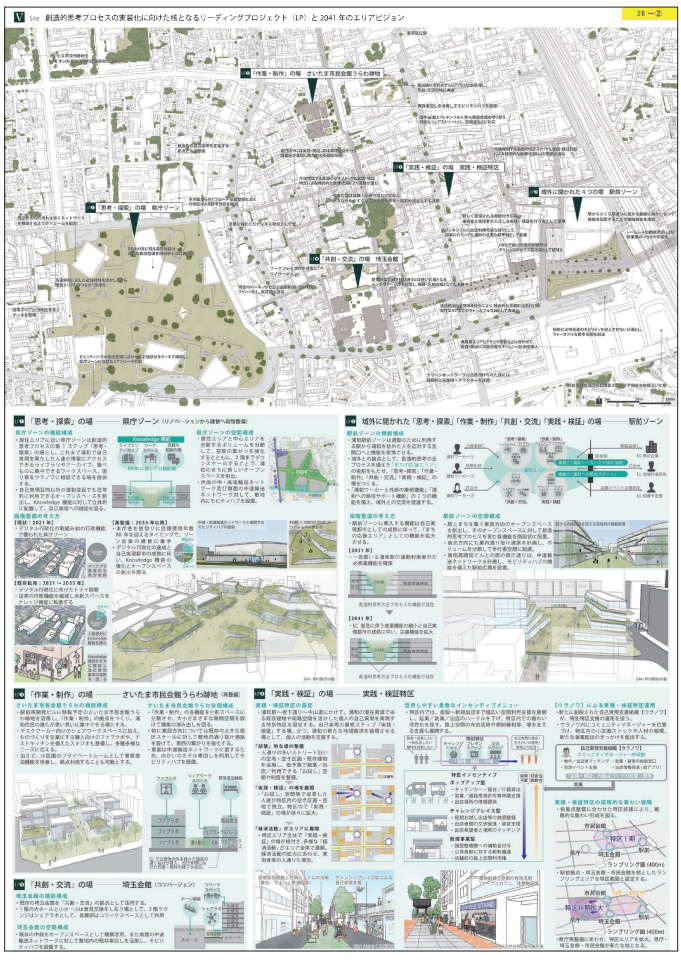
（公財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

エネルギードリブンのまちづくり　『自己実現都市 - 浦和』

受賞者

栗山 康輔 / 土居 正裕 / 南 明日香 / 川江 祐司朗［株式会社 竹中工務店　開発計画本部］





審査講評

■駅前広場～埼玉会館～県庁への軸を基点として自己実現するまちをめざしている構想。構成要素の組み立ては秀逸であるが、「グランドビジョン 2051」と「エリアビジョン 2041」の関連について、より明確な提示があれば良かった。

■オープンスペースに着目してきめ細かく積み重ねた提案群や、自己実現をキーワードに地区内に空間要素を展開する提案に説得力がある。浦和駅前の提案に関しては、このキーワードのコンセプトがやや弱く感じる内容であった点に改善の余地があると思料。

■都市を自己実現の場として、都市における人々の活動による消費エネルギーに着目する斬新な視点に基づき、都市構造の転換を提案した作品。人が中心となる都市デザインの提案が優れた作品。

■都市空間に何を期待しているのかわかりづらい内容。表現の問題かと思うが、都市デザイン競技であるから、都市空間としてわかりやすい打ち出しが添えられるとより良かったと思われる。